

## 社地域小中一貫校整備事業の基本計画を策定するにあたっての着目点

予定する敷地内において

- ① スムーズな小中一貫教育を進めていくための機能を持たせる  
児童、生徒、教職員の動線を配慮する方針
- ② 現在の中学校の教育環境を守る  
現在の中学校施設規模をできる限り、存置していく方針  
(300m グラウンド、野球場、ソフトボール場、テニスコート)
- ③ 予定する規模の学校施設を確保  
小学校が加わることで予定する学校施設を最低限確保していく方針
- ④ 工事中の学校生活をできる限り確保  
工事中も中学校施設を使用していく中、生徒の動線も考慮した工事ステップから導く  
施設配置を考慮する方針
- ⑤ 学校施設の新築、長寿命化改修、解体撤去の見極め  
耐力度調査結果、老朽化度合い、導入する補助事業メニューを見極めながら施設整備  
を行う方針
- ⑥ 事業費の高騰を抑制  
必要な施設内容、施設配置を考慮して、事業費の抑制を図る方針

## 社地域小中一貫校設計方針（基本コンセプト）

### ①加東市がめざす小中一貫教育が推進できる学校

- ・ 4・3・2制の学習に適した教室配置をするなど、前期・中期・後期の区分に即した系統的な指導ができる施設
- ・ 児童・生徒の発達段階に対応した施設
- ・ I C T機器が手軽に活用できるなど、充実した教育活動が行え教職員が円滑に職務を遂行できる施設
- ・ 日常的に集会や発表会ができるなど、多様な異学年交流ができる施設

### ②だれもが楽しく通える安全・安心な学校

- ・ だれもが安心して通え、安全に学校生活を送れる施設
- ・ 多様性に配慮し、ユニバーサルデザインを取り入れた施設
- ・ 災害に強く安全で、避難所機能を備えた施設
- ・ 職員室から死角が少ないなど、児童・生徒の活動が把握できる施設
- ・ 防犯設備の整った施設
- ・ 歩行者、自転車、車、通学バスの安全通行に配慮した施設

### ③快適でゆとりのある学校

- ・ ゆとりがあり、木のあたたかみやぬくもりを感じる施設
- ・ 明るく、風通しがよいなど、児童・生徒が快適に生活できる施設
- ・ 動線に無駄がないなど、移動に時間と手間がかからない施設
- ・ 清潔感を維持できる施設

### ④地域を愛し、地域に愛される学校

- ・ 地域や学校の歴史・文化を大切にする施設
- ・ 地域交流が促進できるなど、保護者や地域住民と連携を深められる施設
- ・ 地域のシンボルとなり、児童・生徒、教職員及び地域住民が誇りに思える施設

### ⑤管理しやすく、使いやすい学校

- ・ 維持・管理、修繕等の対応に配慮した美しい施設
- ・ 十分な収納スペース、豊富に掲示や展示ができるなど、使い勝手のよい施設